

活動方針 3 県境を越えた地域連携と情報発信

本ルートに沿って、自然、歴史と文化、豊富な食材などに恵まれ、他に負けない豊かな資源を持っている。この地域の魅力を十分に発揮するためには、各地区で個別に活動に取り組んでいる人々が県境などの行政区域等にとらわれることなく連携を図り、お互いの魅力を楽しむことができるような互恵的な関係を構築して、「人、モノ、情報」が道路を通じて循環する状況を創出することが必要である。従って、県境を越えて連携した「東九州伊勢えび海道」観光キャンペーン活動を柱にしてさらなる地域連携と情報発信を推進する。

また、将来的な地域連携の展開として、北は一般国道217号を中心に大分県大分市佐賀関、南は一般国道10号を中心に宮崎県日向市までを対象と考え、これらの沿線地域の活動団体との意見交換や交流を図る。

活動事例

・東九州伊勢えび海道事業



【東九州伊勢えび海道 キャラバン隊】

東九州伊勢えび海道事業

平成16年、風土が似ており、昔から水産業を通じて「ヒトとモノ」の交流があった蒲江と北浦において、双方とも県有数の水揚げを誇る「伊勢えび」をターゲットに絞り、双方の観光協会で「東九州伊勢えび海道事業」が始まる。

内 容

1. 合同PR隊（福岡市・宮崎市等）
2. おもてなし講習会（料理講習）
3. 戦略会議
4. スタンブラリー等

結 果

交流客数（食数）

- 平成16年度： 6, 220食
- 平成17年度： 9, 645食
- 平成18年度： 10, 251食
（約1億2千万円の経済効果）

目 標

- 平成19年度： 15, 000食

